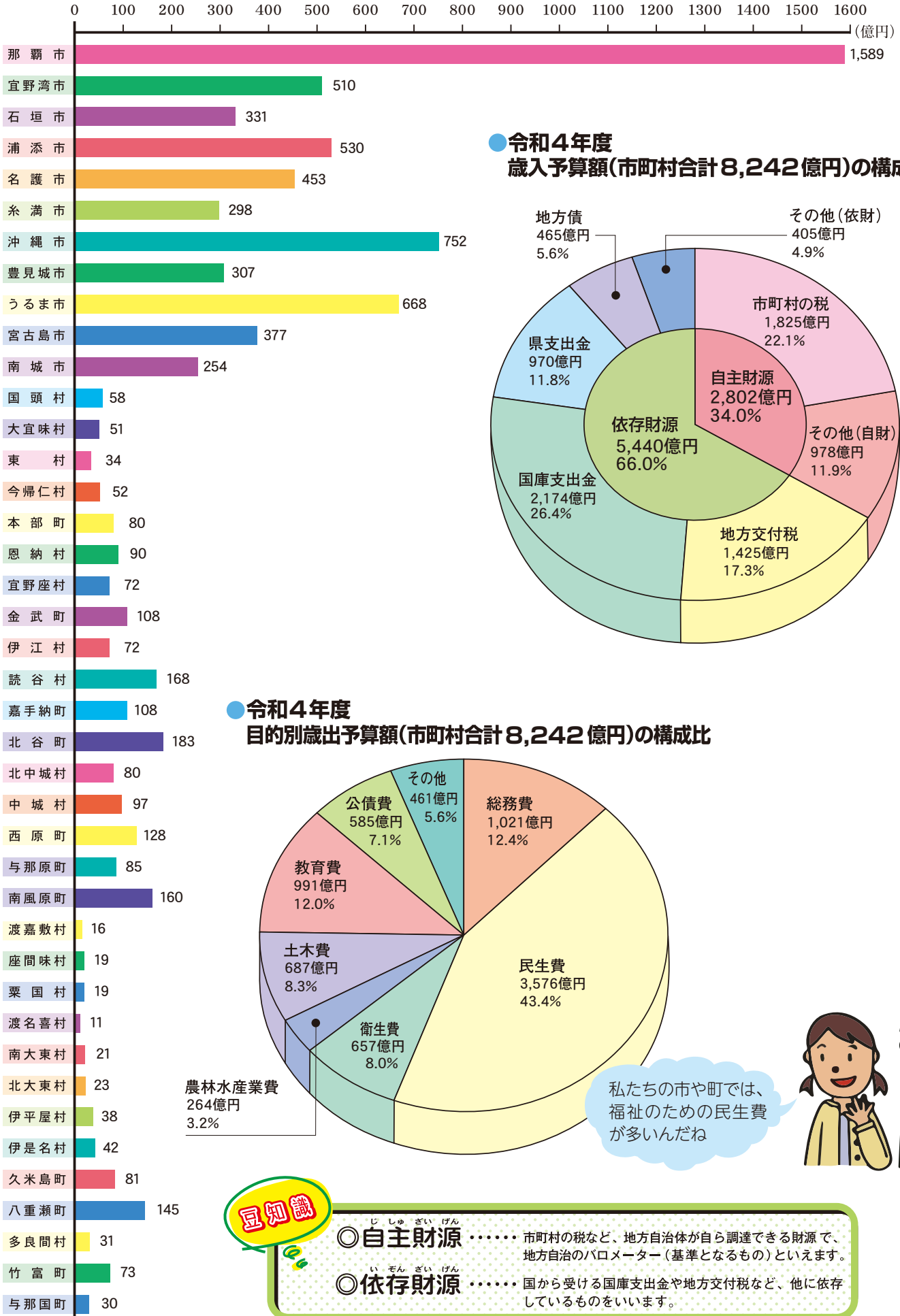
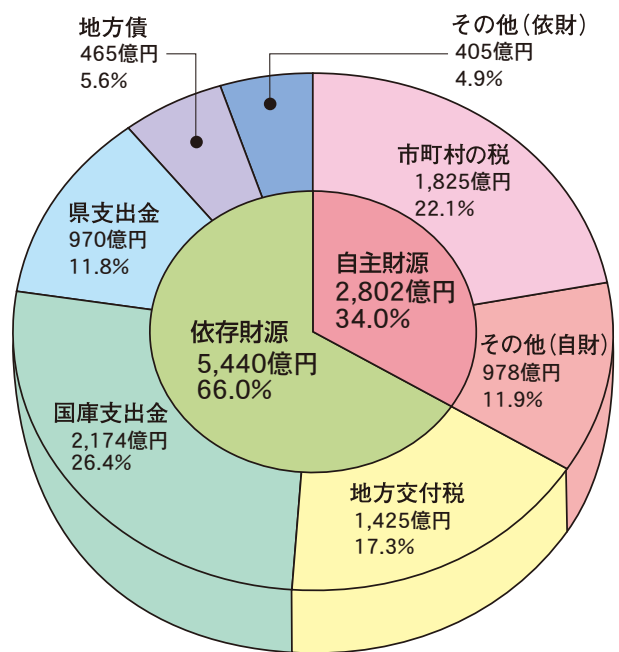


# 市町村の財政

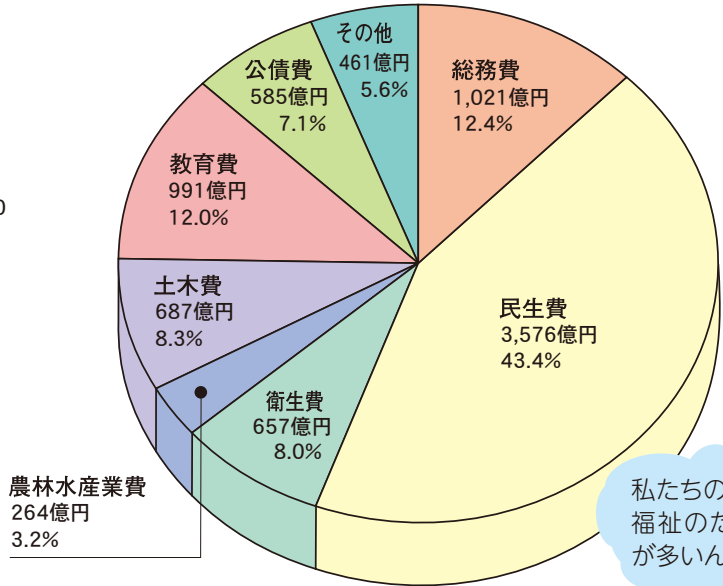
● 令和4年度一般会計当初予算(市町村別) ※データは令和4年6月公表分(沖縄県企画部市町村課)



● 令和4年度 歳入予算額(市町村合計8,242億円)の構成比



● 令和4年度 目的別歳出予算額(市町村合計8,242億円)の構成比



**豆知識**

◎ **自主財源** ..... 市町村の税など、地方自治体が自ら調達できる財源で、地方自治のバロメーター(基準となるもの)といえます。

◎ **依存財源** ..... 国から受ける国庫支出金や地方交付税など、他に依存しているものをいいます。

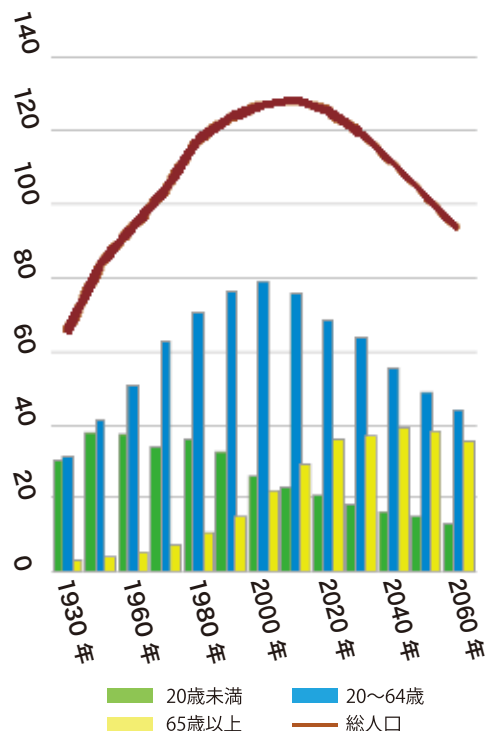
# これからの社会と税

## ●世界でも例のないスピードで、高齢化が進んでいます。

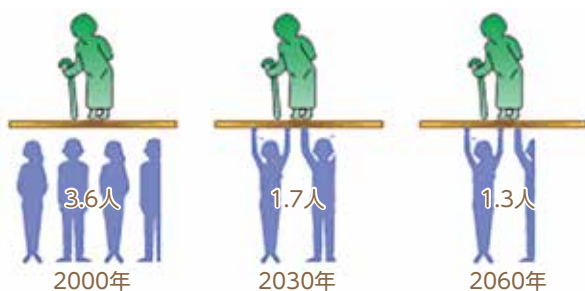
日本は、人口に占める高齢者の割合が増加する「高齢化」と、出生率の低下により若年者人口が減少する「少子化」が同時に進行する少子高齢化社会となっています。

約40年後の2060年までに、65歳以上人口は、横ばいで推移する一方で、20歳～64歳人口は、大幅に減少し、高齢化率は10%程度上昇することが見込まれています。

人口構成の推移



## ●働き手(20～64歳)と高齢者(65歳以上)の比率



働く世代の負担増!!

(出典) 国立社会保障・人口問題研究所  
「日本の将来推計人口(平成29年推計)」

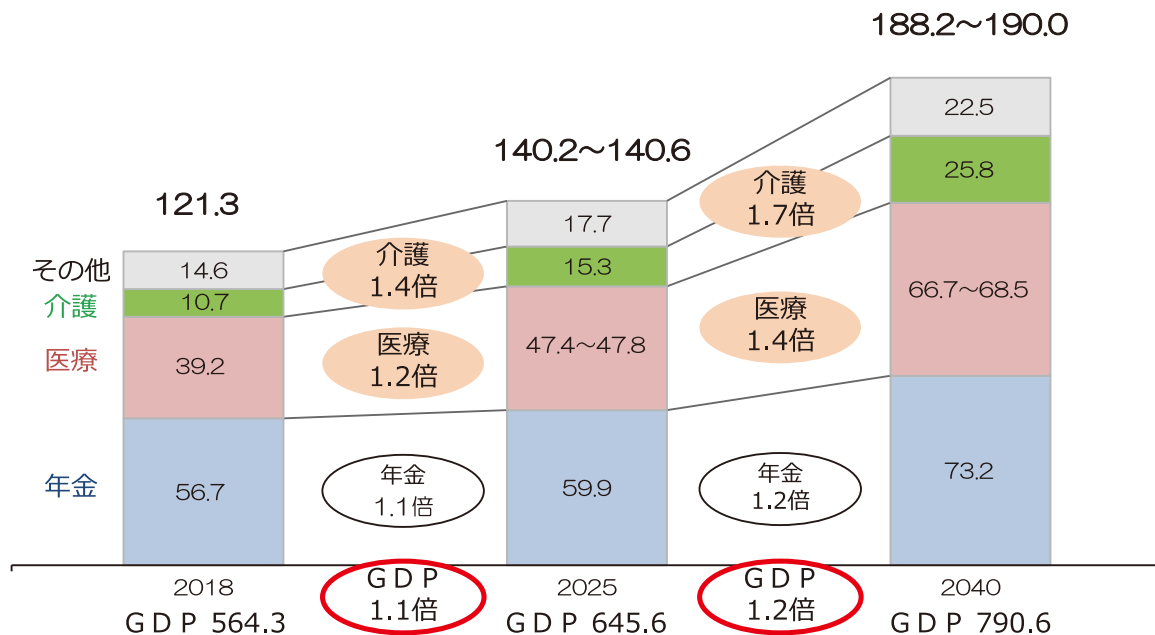
## ●高齢化と社会保障給付の関係を見てみよう

社会保障給付費は、高齢化に伴ってより急激な増加が見込まれます。

団塊の世代と言われる1947年～1949年生まれの全員が75歳以上となる2025年、20～64歳の現役世代が大幅に減少する2040年に向けて、特に医療・介護分野の給付はGDPの伸びを大きく上回って増加していきます。

## 将来の社会保障給付費の見通し

(単位：兆円)



(出典) 財務省「日本の財政を考えよう」

## 納税の義務

### ● 国民主権のもとに税に関する法律は定められています。

税金は、国や地方公共団体が公共サービスを行うのに必要な費用をまかなうために、国民に負担を求めるものです。その負担が、所得税、住民税などの直接税や、消費税、酒税などの間接税として国民に割り振られているわけです。

民主主義国家である日本では、税に関する法律は、国民の代表である国会議員が国会で話し合って決定します。これが税についての民主主義の基本原則です。

地方公共団体の税金である地方税についても同様です。地方税法という法律や、地方公共団体の議会が定める条例でその仕組みが決められています。



国会議事堂



写真提供:衆議院 県議会の様子

### ● 納税の義務は憲法に定められています。

税金は国を維持し、発展させていくために欠かせないものです。憲法でも税金を納めること（納税）を国民の義務と定めています。「納税の義務」は、「勤労の義務」、「教育の義務」とならんで国民の三大義務のひとつとされています。

### 【日本国憲法第30条】

国民は、法律の定めるところにより、  
納税の義務を負ふ。

# 社会保障給付と国民負担の関係

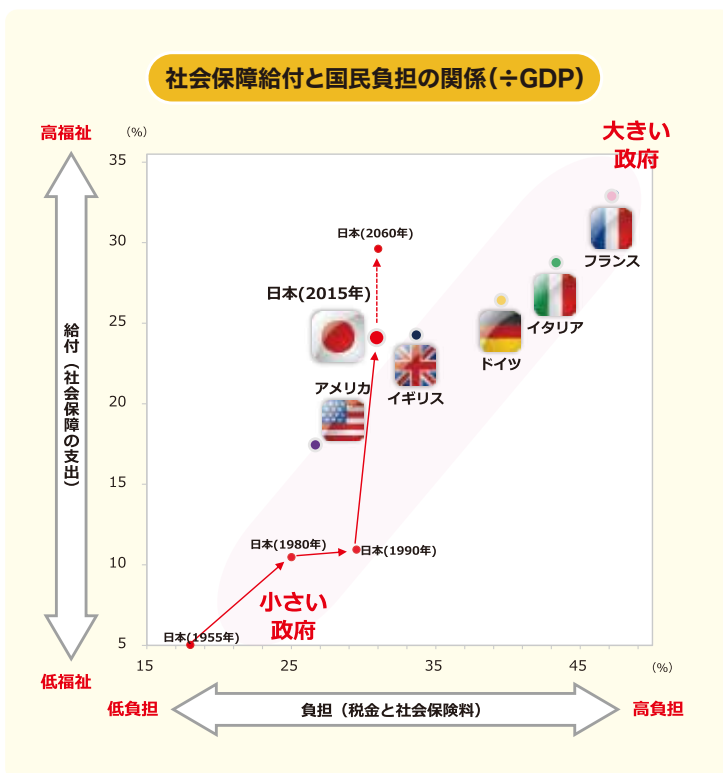
## 国民の負担と給付の状況

日本の社会保障は海外と比較すると、国民の受益(福祉・公的サービス)は「中福祉」の水準にありながら、「低負担」の水準となっています。

今後さらに高齢化が進むと社会保障支出が増加していきます。

**大きい政府 (高福祉・高負担)**  
公的サービスの水準は高くなりますが、その分国民の負担も大きくなります。

**小さい政府 (低福祉・低負担)**  
公的サービスの水準は低くなりますが、その分国民の負担も小さくなります。



(出典) 財務省「日本の財政を考えよう」

現在、日本は「中福祉」・「低負担」 ~ どのような関係・バランスがいいんだろう? ~

## コラム

令和3年度当時も新型コロナウイルス感染症は収束せず、社会に様々な影響を与えていました。

政府はその対応のため、令和3年度の予算成立後も補正予算を成立させ、新型コロナウイルスへの対策を打ち出しました。その関係経費の内容を見てみましょう。

**新型コロナウイルス感染症対策関係経費 ..... 25兆3,746億円**

25兆3,746億円は、例えばこんなことに使われました。

- 医療提供体制の確保等 ..... 3兆3,103億円
- ワクチン等の確保、開発、検査体制の整備等 ..... 4兆3,714億円
- PCR検査機器、医療用設備の整備等 ..... 2,649億円
- 感染症の影響により厳しい状況にある方々の  
事業や生活・暮らしの支援 ..... 14兆9,727億円
- 子育て世帯に対する給付 ..... 7,311億円
- “GO TO”キャンペーン事業 ..... 2,685億円

※補正予算とは、当初の予算が成立したあとに発生した緊急やむを得ない事由によって、当初の予算通りの執行が困難になった時に、変更するように組まれた予算のこと。

早くコロナがない世の中になってほシーサー!



## 令和4年度 税についての作文 入賞作品の紹介

国税庁と全国納税貯蓄組合連合会では、全国の中学生の皆さんから「税についての作文」の募集を行いました。これは、将来を担う中学生の皆さんが、身近に感じた税に関する事、学校で学んだ税に関する事、テレビや新聞などで知った税の話などを題材とした作文を書くことで、税について関心を持ち、正しい理解を深めていただくという趣旨で実施しているものです。

令和4年度は全国6,594校から460,803編（沖縄97校から4,728編）の作文が寄せられました。この中から内閣総理大臣賞をはじめ総務大臣賞、財務大臣賞、文部科学大臣賞、国税庁長官賞などの優秀作品を選考し、賞状及び記念品を贈呈しました。

令和5年度も6月上旬～9月上旬に作文の募集を予定しています。県内の中学生の皆さんからの活発なご応募をお待ちしています。

### ■令和4年度 国税庁長官賞

「祖母の笑顔」 寄宮中学校3年 宮里芽依

「税金によって支えられている日常」 那覇中学校3年 宮里桃佳

## マイナンバーについて

- マイナンバーとは、国民1人に1つの自分専用の番号のことです。一生使うものなので、大切にしましょう。
- 役所同士がマイナンバーで繋がった情報をやり取りするので、いろんな役所に書類を貰いに行かずに済んだり、提出書類が省略できたりします。
- マイナンバーは、私たちの健康や生活を守るために欠かせない社会保障や公平な税負担及び災害があった場合の手助けのための手続きなどに利用されます。
- スマホやパソコンでオンライン手続きが可能になります。



# 国税庁ホームページの 税の学習コーナーへ

税について  
もっと知りたいときは…



国税庁ホームページ

<https://www.nta.go.jp>

税の学習コーナー

検索



クイズやゲーム、アニメなどを通じて楽しく  
税について学べるコーナーもあります。

(注) ホームページの場面は令和4年3月現在のものです。

## 生徒の皆さんへ

税についてもっと詳しく学びたいときに、こちらの資料をご利用ください。



## 先生方へ

生徒の皆さんに税の意義・役割について伝えるための講師用マニュアルワークシートや租税教育の事例集等を提供しています。



編集・発行

沖縄県租税教育推進協議会  
(事務局 那覇市旭町9 沖縄国税事務所内)

●表紙の写真  
令和4年1月 建築中の沖縄県立開邦中・高の校舎。建設にかかった費用は13.6億円。

	中学校	3年	組
名前			